

第61回前島密賞受賞者・功績概要

前島密賞規程第2条関連 (1/6)

◎ 敬称略・年齢は平成28年3月18日現在

推薦 機関	氏名(年齢)	住所	職歴等	表彰歴	功 績 概 要	備考
総務省	おおたけ きよのり 大竹 清敬 (42歳)	京都府	国立研究開発法人 情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケー ション研究所 情報分析研究室 主任研究員	・米国Twitter社 Twitter #Data Grants H,26 他2件	【対災害SNS情報分析システムDISAANA(DISAsAster information ANALyzer: ディサーナ)の研究開発】 災害時にTwitterで発信される膨大な災害情報を分析・整理して、災害に関する多様な質問にリアルタイムで回答し、また、被害・救援状況を地図上に表示し、被災状況の俯瞰的把握や救援活動の円滑化を可能にする対災害SNS情報分析システムDISAANAを開発されました。DISAANAは、Twitterで問題となるデマを認識するための情報間の矛盾検出機能や、各被災情報に対して救援状況を提示する世界初の機能等、極めて高度な言語処理技術を備えています。自治体との実証実験でも高く評価され、現在ネット上で公開されています。 ◎大竹氏は DISAANAの研究開発プロジェクト全体を統括し、約160台のサーバーで各種のソフトウェアモジュールが連携し並列に動作して、毎秒1万5千件のTwitterの書き込みを分析しつつ、毎秒400件以上の質問等に対応できる大規模かつ実用的なシステムを開発されました。さらに災害時に重要となる地名等に関する緯度経度付きの340万件の場所名辞書、質問の回答や被災状況等を分かりやすく提示するための2,700万単語の意味的辞書等、非常に大規模な辞書を整備されました。	
	とりさわ けんたろう 鳥澤 健太郎 (47歳)	奈良県	国立研究開発法人 情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケー ション研究所 情報分析研究室 室長	・日本学術振興会賞 H,23 他8件	◎鳥澤氏は Twitterから、被災状況、例えば「A市でガソリンが不足している」「B市でエレベーターが動かない」等のトラブルの報告、ならびに「A市にガソリンを届けた」「B市でエレベーターが復旧した」等、それらトラブルに係る救援状況の報告を自動抽出する世界初の機能を開発されました。また、質問応答で利用する「Xが不足する」「Xが枯渇する」といった言語パターン間の同義関係や「Xが不足する」と「Xが余る」等の矛盾関係の合計3億エントリを超える世界最大級のデータベースを構築し、DISAANAで利用可能にされました。	
	ごとう じゅん 後藤 淳 (47歳)	神奈川県	日本放送協会 放送技術研究所 ヒューマンインターフェース 研究部 上級研究員	・米国Twitter社 Twitter #Data Grants H,26 他4件	◎後藤氏は 災害時に発信される膨大な Twitterの書き込みからリアルタイムに回答を抽出する質問応答技術を開発されました。その技術では、自然言語で入力される質問の表現を、様々な表現に言い換えることで、多様な表現を含むTwitterの書き込みから質問の回答や回答に矛盾する情報を網羅的に抽出することを可能にされました。また、特に質問応答の速度の改善に努め、多数のサーバーのメモリ上にデータを分散配置し、データベースアクセス等を最適化して、毎秒400質問に回答が可能な技術を開発されました。	
	みずの じゅんた 水野 淳太 (32歳)	宮城県	国立研究開発法人 情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケー ション研究所 情報分析研究室 研究員	・米国Twitter社 Twitter #Data Grants H,26 他4件	◎水野氏は Twitterの書き込みを解析し、質問応答や矛盾の認識等で利用可能な形に変換するソフトウェアを開発されました。特に、「否定」の自動認識に取り組み、矛盾情報の検出精度を大きく改善されました。例えば、一種の否定の表現と見做せる「食料が不足とのチェーンメールが来た」「食料が不足してるなんて言ってるのは誰？」等の表現を否定として認識することに高精度で対処できる手法を開発されました。	
	たなか まさひろ 田中 正弘 (34歳)	京都府	国立研究開発法人 情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケー ション研究所 情報分析研究室 主任研究員	・米国Twitter社 Twitter #Data Grants H,26 他2件	◎田中氏は プログラムの高並列化のためのミドルウェアRaSCを開発し、DISAANAの高速化等に貢献されました。DISAANAでは、その開発目的から、常時継続的に流入するTwitter情報を解析しつつ、ユーザからの多数の質問等のリクエストを高速に処理する必要があり、従来の並列化ミドルウェアの問題点をRaSCで解決し、DISAANAの高速化、開発コストの低減、数百台スケールの計算機クラスター上での並列実行の安定性に大きく貢献されました。	

第61回前島密賞受賞者・功績概要

前島密賞規程第2条関連 (2/6)

◎ 敬称略・年齢は平成28年3月18日現在

推薦 機関	氏名(年齢)	住所	職歴等	表彰歴	功 績 概 要	備考
日本 郵政 (株)	こてら てるひさ 小寺 輝久 (68歳)	兵庫県	(元)京都中央郵便局長	・総務大臣表彰 (事業優績) H.18 他2件	<p>【事業業績】</p> <p>昭和44年4月、大阪郵政局人事部人事課に採用され、京都中央郵便局長を最後に退職されるまで、38年有余の長きにわたり、常に旺盛な責任感と情熱をもって職務に精励し、郵政事業の発展に貢献されました。</p> <p>特に、郵政公社発足時、近畿支社総務部長としてその調整機能をいかに発揮し、公社化へのスムーズな移行に尽力するとともに、公社経営の基盤となるアクションプランの浸透とその推進に努められました。また、京都中央郵便局長として在任中、環境施策に積極的に取り組みISO14001の認証を取得したほか、JPSコア局としてその推進と定着に努め、顕著な成果を挙げたことから連年JPS表彰を受賞するなど、郵政事業の発展に寄与されました。</p>	
	まるおか まさのり 丸岡 正憲 (69歳)	香川県	(元)徳島中央郵便局長	・総裁表彰 (事業優績) H.17	<p>【事業業績】</p> <p>昭和44年6月、香川県佐柳郵便局に採用され、徳島中央郵便局長を最後に退職されるまで37年有余の長きにわたり、専心職務に精励し、郵政事業の発展に貢献されました。</p> <p>特に、四国郵政局保険部長として在任中、日本郵政公社発足を前に、「お客さま第一」を念頭に、実践的な営業パーソンの育成、市場に応じた効率的な渉外社員の配置等に取り組みられました。また、徳島中央郵便局長として在任中は、業務面、営業面すべてにおいて四国管内の牽引的な役割を果たす郵便局づくりに努めました。営業面では、職員一人ひとりに、あいさつ、身だしなみの向上や集荷等のサービス向上施策を積極的にPRさせ、お客さまに満足して利用していただける郵便局づくりに、業務面では、誤取扱いを防止するため基本動作の徹底を訴え、信頼される郵便局づくりに尽力されました。</p>	
	やまもと かずあき 山本 一明 (65歳)	岐阜県	(元)谷汲郵便局長 (元)全国郵便局長会 副会長	・総裁大臣表彰 (業務優績) H.14 他6件	<p>【事業業績】</p> <p>昭和50年6月、岐阜県大垣船町郵便局に採用され、同県谷汲郵便局長を最後に退職されるまで、38年有余の長きにわたり、始終至誠を尽くして職務に精励され、郵政事業の発展に多大な貢献をされました。西美濃特定郵便局長業務推進連絡会長に就任後は、業績向上と同連絡会内各局長の更なるスキルアップを図るため、連絡会各役員それぞれがもっている力を最大限発揮させることに注力し、組織としてのマネジメント能力向上に手腕を発揮されました。</p> <p>全国郵便局長会副会長に就任後は、地域社会の発展を支援するという郵便局の位置付けを念頭に置いて、それぞれの地域に合った活動を展開するよう指導を行い、各組織の活性化を図ったものであり、全国の郵便局の業績向上に寄与されました。</p>	
	おおわだ いさむ 大和田 勇 (67歳)	北海道	(元)釧路東郵便局長 (元)全国郵便局長会 理事	・郵便年度優績(支社 長) H.19 他6件	<p>【事業業績】</p> <p>昭和46年11月、北海道茶路郵便局に採用され、釧路東郵便局長を最後に退職されるまで、42年有余の長きにわたり、一心不乱に職務を全うされ、郵政事業の発展に多大な貢献をされました。北海道地方郵便局長会会長に就任後は、持ち前の高い見識と行動力、指導力を発揮し、特に過疎地域を多く抱える北海道の業績向上に尽力されました。</p> <p>さらに、平成24年5月から全国郵便局長会理事に就任後は、郵政事業の安定した経営基盤の確立のため、自ら先頭に立ち、豊富な経験と知識に裏打ちされた的確な指示と献身的な取り組みを行って全国の郵便局をまとめられました。</p>	

第61回前島密賞受賞者・功績概要

前島密賞規程第2条関連 (3/6)

◎ 敬称略・年齢は平成28年3月18日現在

推薦 機関	氏名 (年齢)	住所	職歴等	表彰歴	功 績 概 要	備考
日本 電 信 電 話 （ 株 ）	いしかわ ひろし 石川 宏 (73歳)	東京都	(元)日本電信電話(株) 常務取締役再編成室 次長 (元)㈱エヌ・ティ・ティ・エム イー代表取締役社長	・第52回電気通信協会賞 H.23 他3件	【事業業績】 昭和42年4月、日本電信電話公社入社、平成10年6月日本電信電話株式会社常務取締役を最後に退任されるまで、要職を歴任するとともに電話サービスの利便性向上等にかかる多くの研究開発を成し遂げ、我が国の電気通信事業の発展に貢献されました。 特に、フリーダイヤル・テレドーム・テレゴング・伝言ダイヤルなど一連の電話サービスを実用化したほか、パーソナルハンディホンシステム(PHS)を世界に先駆けて実用化されました。 同社退職後は、(株)NTT-ME代表取締役社長、NTTアドバンステクノロジー(株)代表取締役社長等の要職を歴任し、電気通信事業の発展に尽力されました。	
	すぎやま かずお 杉山 一雄 (50歳)	神奈川県	(株)NTTドコモ ネットワーク開発部長	・第26回電波功績賞 総務大臣賞(株)NTTドコモ VoLTE開発グループとして受賞)	【標準化への積極的貢献による高音質・高効率なVoLTEの早期実用化】 高速なモバイルデータ通信を提供するLTE方式はベストエフォート型のパケット交換のみを対象としているため、従前のVoIPの手法では、音声の所要QoS(Quality of service)を満たすことは困難であり、従来の回線交換に比べて周波数利用効率も向上できないなどの課題がありました。そこで、LTEの標準化機関(3GPP)において、QoSを保証し、かつ高効率な音声伝送を実現するVoLTE(Voice over LTE)の国際標準仕様作成をリードするとともに、国内初のサービス開始と早期の普及に尽力されました。また、音声品質向上のため、従来の3G方式のエリアへ移動しても音声途切れることなく継続する方式(SRVCC)などの標準化を提案、議論をリードし、これらを導入当初から取り入れることで非常に安定した音声サービスの提供を実現されました。	
	まえばら あきひろ 前原 昭宏 (50歳)	神奈川県	(株)NTTドコモ 無線アクセス開発部長	・第26回電波功績賞 総務大臣賞(株)NTTドコモ VoLTE開発グループとして受賞) 他1件	◎杉山氏は 3GからVoLTEへのスムーズな移行を視野に入れたコアネットワークの機能開発を主導し、日本初のVoLTEサービス開始に大きく貢献されました。また、多様な端末動作を受け入れられるソフトウェアの開発を指揮し、更に、SRVCCを採用する判断を行ったことなど、実用性を高めることにより、VoLTEの早期普及に貢献されました。 ◎前原氏は LTEにおけるIPプロトコルを用いた高音質・高効率な音声伝送の実現のため、標準化仕様作成の段階からその方向性を主導し、無線区間における効率伝送、およびQoSの実現に大きく貢献されました。更に、VoLTEを提供する無線基地局の開発を指揮し、VoLTEサービスの早期導入の実現に貢献されました。	
	ふたかた としゆき 二方 敏之 (50歳)	神奈川県	(株)NTTドコモ 移動機開発部 担当部長	・第26回電波功績賞 総務大臣賞(株)NTTドコモ VoLTE開発グループとして受賞)	◎二方氏は サービス開始当初から多様な端末でVoLTEを提供すべく、各種端末とネットワークとの仕様調整を行い、また、あらゆる組合せの接続評価試験を実施し、世界に先駆けてその接続性確保にかかる課題を解決されました。また、さらなるVoLTEの普及を目指し、スマートフォン主要OSベンダにも働きかけ、標準化の遅れていたローミングおよび事業者間の相互接続の実現に取り組み、新しいローミング方式開発に貢献するなど、ネットワーク社会の利便性向上に大きく貢献されました。	

第61回前島密賞受賞者・功績概要

前島密賞規程第2条関連 (4/6)

◎ 敬称略・年齢は平成28年3月18日現在

推薦 機関	氏名 (年齢)	住所	職歴等	表彰歴	功 績 概 要	備考
日本 電信 電話 (株)	なかじま かずひで 中島 和秀 (47歳)	茨城県	日本電信電話(株) NTTアクセスサービスシステム研 究所 主幹研究員	・電子情報通信学会業績賞 (口項) H,25 他1件	<p>【空孔アシスト光ファイバの研究開発】</p> <p>従来の汎用的な単一モード光ファイバの弱点であった、曲げ付与部における光信号の減衰・漏洩を飛躍的に改善する、低曲げ損失光ファイバ技術を確立し、今日の2,600万契約を超えるFiber To The Home(FTTH)の普及・進展に大きな貢献をされました。特に、“折り返し”、あるいは“結び”といった自在の光配線形態を実現する空孔アシスト光ファイバを用いた曲げフリー光ファイバコードは、専門知識の無いユーザでも安心・安全に取り扱いが可能な屋内光配線を実現し、その技術は国際的に普及し、標準化されました。</p> <p>◎中島氏は 光ファイバのコアの周囲に数個の空孔を配置した空孔アシスト光ファイバの研究開発に際し、既存の光ファイバと同等の光学特性を有し、かつ曲げ損失の飛躍的な低減を可能とする、コアと空孔の構造条件について明らかにし、半径5mm未満の曲げを付与した場合においても、殆ど光信号が減衰しない、世界最高水準の曲げ損失耐性を有する空孔アシスト光ファイバを実現されました。</p> <p>◎富田氏は 曲げフリー光ファイバコードの実用化に際し、任意の光配線形態への適用性を損なわない十分な可とう性を維持し、かつ光ファイバ素線に印加される最小曲げ半径を、十分な信頼性の担保に必要な2.5mm以上とする最適な光コードの構造条件を明らかにされました。</p> <p>◎三川氏は 曲げフリー光ファイバコードの実用化に際し、空孔アシスト光ファイバの両端における空孔領域を封止し、空孔内部への液体や異物の侵入による光ファイバの伝送特性の劣化を防止し、かつ汎用の単一モード光ファイバとの低損失な接続特性を維持する構造条件について明らかにされました。更に、既存のSCコネクタとの互換性を有し、かつコネクタの挿抜に伴い自動で開閉するコネクタ構造を具備することにより、専門知識の無いユーザが安心・安全に利用可能な光配線コードを実現されました。</p>	
	とみた しげる 富田 茂 (55歳)	茨城県	NTTアドバンステクノロジー(株) 主幹担当部長	・電子情報通信学会業績賞 (口項) H,25 他1件		
	さんかわ いずみ 三川 泉 (59歳)	神奈川県	NTTエレクトロニクス(株) 部門長	・電子情報通信学会業績賞 (口項) H,25		
日本 放送 協会	いけや けんすけ 池谷 健佑 (34歳)	神奈川県	日本放送協会 放送技術研究所 立体映像研究部	・日本放送協会 会長賞(個人) H,26	<p>【多視点ロボットカメラの開発】</p> <p>異なる場所に複数設置したカメラのうち、カメラマンが操作・撮影する1台のカメラの被写体に、他のカメラが連動制御して追尾・撮影する多視点ロボットカメラを世界に先駆けて開発されました。このロボットカメラでは、これまで不可能だった広い範囲を動き回る被写体の多視点映像を撮影可能にしました。また、このロボットカメラで撮影した多視点映像を用いることで、移動する被写体を、どんな位置でも立体的に映像表現できる「ぐるっとビジョン」という新規分野の開拓に成功されました。</p> <p>さらに、将来の立体テレビ実現を目指し、多視点映像からインテグラル式映像(特別なメガネを必要とせず自然な立体映像を表示できる方式)への変換手法も構築し、多視点ロボットカメラが立体映像の撮像にも適用できることを実証されました。</p>	

第61回前島密賞受賞者・功績概要

前島密賞規程第2条関連 (5/6)

◎ 敬称略・年齢は平成28年3月18日現在

推薦機関	氏名(年齢)	住所	職歴等	表彰歴	功 績 概 要	備考
(一財) 日本ITU協	むらの かずお 村野 和雄 (70歳)	東京都	(元)㈱富士通研究所 代表取締役会長	・「世界情報社会・電気通信 日のつどい 総務大臣賞」 H,26 他3件	【文化振興】 CCITT(現ITU電気通信標準化部門)第18研究委員会の日本代表団の一員として、ISDN勧告審議の初期段階から参加し、ISDNの国際標準化及び高能率音声符号化方式の国際標準作成に貢献されました。また、光ファイバーを用いた高速デジタル通信方式、SDH(Synchronous Digital Hierarchy)や非同期転送モードATM(Asynchronous Transfer Mode)などブロードバンドネットワークの伝送システムに関する技術開発を推進し、ITUにおけるブロードバンド伝送技術の標準化活動に積極的に寄与されました。さらに、ITU電気通信標準化部門が主催する最高技術責任者(CTO)会議等に参画し、将来の国際標準化技術に関するグローバル規模での戦略策定に多大な貢献をされました。	
(一社) 連日盟本 民間放送	しげむら はじめ 重村 一 (71歳)	神奈川県	㈱ニッポン放送 代表取締役会長 (元)㈱フジテレビジョン 取締役 (元)スカパーJSAT㈱ 代表取締役社長	・「情報通信月間」総務大臣 表彰 H,25	【文化振興】 フジテレビジョンにおける編成・制作での経験や、有料衛星プラットフォームの経営を通じて、“日本のテレビ番組は国内にとどまらず、広く世界に紹介すべき”との信念を持ち、従来は国内市場だけで完結していた日本のコンテンツを、様々な形で海外に紹介する仕組みを構築し、「日本コンテンツの海外発信」に大きく貢献されました。平成19年に国際ドラマフェスティバル in Tokyoの初代実行委員長を務めるとともに、翌年以降は副委員長兼エグゼクティブ・プロデューサーとして、9年にわたり尽力されました。また、平成25年に総務省が主体となって設立した「放送コンテンツ海外展開促進機構(BEJ)」の理事・運営委員長を務め、翌年度には、ASEAN6か国(インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー)に現地地上波の放送枠を確保し、様々な形で日本をPRする番組の放送を実現されました。	
(一社) ビステレ コム	おおはし たてあき 大橋 建明 (68歳)	兵庫県	スターネット㈱顧問 (元 社長、会長)	・「電波の日・情報通信月間」 近畿総合通信局長表彰 H,24	【事業業績】 (一社)テレコムサービス協会副会長として、協会の運営・発展に尽力をしたほか、近畿支部会長として、電気通信分野におけるセキュリティの在り方や個人情報保護の啓発に努めるなど、電気通信事業の普及発展に多大な貢献をされました。また、一般第二種通信業者の先駆者として、ネットワーク信頼性確保や企業間ネットワークの拡張に努める等、ネットワーク社会の発展に寄与しました。さらにネットワークインテグレータとして、最新の情報通信技術動向を見据え、ネットワーク技術者の育成、新規サービスを提供する等、ネットワーク社会の進歩発展に貢献されました。	

第61回前島密賞受賞者・功績概要

前島密賞規程第2条関連 (6/6)

◎ 敬称略・年齢は平成28年3月18日現在

推薦 機関	氏名 (年齢)	住所	職歴等	表彰歴	功 績 概 要	備考
(一社) 電波産業会	日本電気(株) PASOLINK開発グループ			・第43回日本ITU協会賞国際協力賞 H.27 他3件	<p>【バックホール回線用PASOLINK開発による国内外のモバイルネットワークの普及と高度化への貢献】</p> <p>NECは昭和60年代より「PASOLINK(パソリンク)」という名称の小型マイクロ波通信装置を、中小容量(4Mbps～34Mbps)の短距離リンク用途に開発・出荷していましたが、その需要は小規模なものでした。その後、国内外のモバイル通信システムの設備需要が急増し、海外の基地局と交換局などの上位ネットワークを接続するモバイルバックホール回線にPASOLINKの通信容量や通信距離などの仕様が適合することから、PASOLINK開発グループは自社開発・LSI化した、世界初の2048QAM変調方式による高速化技術や無線通信システムに適したLDPC符号といった技術をPASOLINKに実装し、高性能化・低価格化・高品質化を進め、優れた競争力により販売シェアを高めるとともに、国内外のモバイルネットワークの普及と高速・高品質化に貢献されました。</p>	
(一社) テレビ連盟	かわせ たかよし 川瀬 隆介 (63歳)	岐阜県	(株)キャッチネットワーク 特別顧問(元 社長)	・ケーブルテレビ功労者表彰 H.25 他2件	<p>【事業業績】</p> <p>(株)キャッチネットワークの設立準備段階から専任メンバーとして参画し、同社を、事業エリア(刈谷市・安城市・高浜市・知立市・碧南市・西尾市)の行政と連携して社会貢献型・地域密着ケーブルテレビ会社に育成されました。特に、6市の行政トップからの要請に応え、テレビ・インターネット・FMラジオを活用したメディアミックスによる災害放送体制を構築し、全国の模範となる実績を残されました。</p> <p>また、平成13年以降から、日本ケーブルテレビ連盟の活動にも深く関わり、業界ビジョン作成WG座長、FTTH調査会委員長、コンプライアンス委員会委員長、経営委員会委員長、地域力推進特別委員会業界力検討部会長、人財育成部会の顧客対応塾長などを歴任し、業界の活性化、基盤の構築・発展に尽力されました。</p>	